

## 住宅用火災警報器 しっかり設置！ しっかりお手入れ！

煙などの発生を早期に知らせ、逃げ遅れを防ぐ住宅用火災警報器を設置しましょう。

### 住宅用火災警報器の設置が必要な場所は？

- 寝室 … 就寝中は最も無防備！逃げ遅れを防ぐ
- 階段 … 煙の通り道！大事な逃げ道
- 台所 … 火災発生の危険性大！

### 住宅用火災報知器の種類は？

煙感知式と熱感知式の2種類がある！  
寝室や階段、居室は煙感知式を設置！  
台所は、熱感知式又は煙感知式を設置！

住宅用火災警報器の寿命はおおよそ10年です。  
～ 10年経ったら交換しましょう ～

点検方法



← 点検ヒモ

↑ 点検ボタン ↑

正常 → ○「ピーピーピー」「正常です」 異常 → ×「ピッピッピッ」「電池切れです」又は反応なし

- ・一年に一度は点検を行い、異常がある場合は本体を交換しましょう。
- ・点検の方法は本体のひもを引くものや、ボタンを押して点検するものがあります。

## 大規模地震による火災に備えよう！

大規模地震発生時には、火災が同時に多くの場所で発生し、大規模な火災につながる可能性が高くなります。日頃からしっかりと大規模地震に備えておきましょう！

### 日頃からできる備えは？

- 感震ブレーカーを設置する。
- こんろやストーブ等、熱源となる物の周囲を整理整頓する。
- 家具等の転倒防止策を行う。

### 地震発生時・発生後の対応は？

- 使用中の電気機器・ガス機器・ストーブ等の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
- 電気機器、コードの損傷がないか確認する。
- 屋外に避難するときは、ブレーカーを落とす。

防火・防災のお問合せ、御相談は、最寄りの消防署（消防分署）まで。

・北消防署:491-4148 ・上京消防署:431-1371 ・左京消防署:723-0119  
 ・中京消防署:841-6333 ・東山消防署:541-0191 ・山科消防署:592-9755  
 ・下京消防署:361-4411 ・南消防署:681-0711 ・右京消防署:871-0119  
 ・西京消防署:392-6071 ・伏見消防署:641-5355 ・醍醐消防分署:571-0474

救急車？病院？  
急な病気やけがで迷ったときは…  
救急安心センターきょうと  
24時間 365日  
救急の電話相談窓口  
◆携帯電話・フッシュ回線からは  
#7119 ◆ダイヤル回線・IP電話からは  
☎0570-00-7119



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！

# 住宅火災から いのちを守ろう



あなたのその習慣が

火事のたまごを育てていませんか？  
住宅火災にご注意を！



## 電気配線 (コード)



### 《事例》

- コードに負荷がかかり、銅線や被覆が損傷したことで発熱や短絡（ショート）により火事になった。

### 《習慣》

- 電気コードの上には、重さに関係なく、家具家電、マットなどを置かないようにしましょう。
- 電気コードを曲げる、巻き付ける、束ねることなどは控えましょう。
- たこ足配線をしないようにしましょう。

### 《対策》

#### ★ 定期的な交換

テーブルタップ（延長コード）の表面上に不具合がなくても、内部で断線している可能性があるため、定期的に交換しましょう。

## たばこ



### 《事例》

- 家の中で歩きたばこをしており、火種が燃えやすいものに落下したことにより火事になった。

### 《習慣》

- 歩きたばこや寝たばこは絶対にせず、決まった場所でたばこを吸うようにしましょう。
- 吸い殻は、水を入れた縁の広い灰皿を使用し、確実に消火しましょう。
- 就寝前や外出する前には、喫煙場所を確認しましょう。

### 《対策》

#### ★ 防災品を使用

布団やシーツ、枕などの寝具類やパジャマ等の衣類は、防災品を使用しましょう。

## 充電式電池 (リチウムイオン電池)



### 《事例》

- スマホを夜から翌朝まで充電していたが、過充電により内部のリチウムイオン電池が異常発熱し、火事になった。

### 《習慣》

- 落下等による外部からの大きな衝撃を加えないようにしましょう。
- 膨張や異音、異臭などの異常があった場合は、使用をやめ、メーカーや販売店に相談しましょう。

### 《対策》

#### ★ 純正品を使用

充電式電気掃除機や、工具などで使われる充電式電池は、純正品又はメーカー指定のものを使用しましょう。

## こんろ



### 《事例》

- 調理中に火を付けたままその場を離れたことによる火事や、こんろの火が着ていた衣服に燃え移ったことにより火事になった。

### 《習慣》

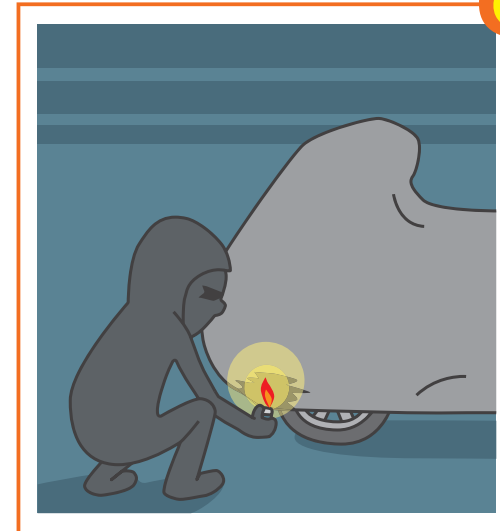
- 料理中にその場を離れるときは、必ず火を消しましょう。
- 料理中は、衣服にこんろの火が燃え移らないように、ゆったりした衣類や袖、裾の広がった衣類は着ないようにしましょう。
- こんろの周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。

### 《対策》

#### ★ 安全装置が付いている製品を使用

「調理油過熱防止装置」や「立ち消え安全装置」、「消し忘れ消火機能」などが取り付けられたこんろを使用しましょう。

## 放火



### 《事例》

- 敷地内の駐車場に置いていたバイクカバーに、何かが火を付けたことにより火事になった。

### 《習慣》

- 家の周りは、整理整頓し、燃えやすいものは置かないようにしましょう。
- 門扉や物置には、鍵を掛け、不審者の侵入を防ぎましょう。

### 《対策》

#### ★ センサーライトなどの機器設置や防災品の使用

家の周りや駐車場は、照明やセンサーライト、防犯カメラなどの機器を設置し、車やバイクなどのボディカバーは、防災品を使用しましょう。

## 暖房器具 (電気・石油ストーブ)



### 《事例》

- 布団などの寝具類が、ストーブのヒーター部分に接触したことにより火事になった。

### 《習慣》

- 就寝時や外出時には、必ずストーブを消しましょう。
- ストーブの上に洗濯物を干さないようにしましょう。
- カーテンなどの燃えやすいものの近くでストーブを使用することは、やめましょう。
- 必ず火を消してから、ストーブに給油しましょう。

### 《対策》

#### ★ 安全装置が付いている製品を使用

転倒時に自動で運転を停止する「転倒時オフ機能」や機器内が異常過熱したときに運転を停止する「過熱防止装置」などが取り付けられた製品を使用しましょう。